第８回信濃町総合教育会議 会議記録

１　開会及び閉会　　開会：令和５年７月 24 日（月）午後３時 30 分
　　閉会：　　午後５時 08 分

２　会議場所　　信濃町役場公室

３　出 席 者　　鈴木町長、小林副町長、佐藤教育長、
　　吉川職務代理、竹島委員、水澤委員、大澤委員

４　欠席者　　なし

５　事務局等の出席職員　　外谷場教育次長、北村総務教育係長、椙澤子ども支援係長、
　　渡辺野尻湖ナウマンゾウ博物館係長
　　海ロ一茶記念館係長、児玉黒姫童話館係長

６　町長あいさつ

７　協議事項
　（１）子育て支援における保育のあり方
　（２）文化三館等の現状について
　（３）その他当面の課題について

８　その他

９　閉会

外谷場教育次長

ただ今から第８回信濃町総合教育会議を開催します。

総合教育会議の招集は町長が行うこととなっておりますので、鈴木町長からあいさつをお願いします。

鈴木町長

本日は、第８回信濃町総合教育会議ということで、お集まりいただきありがとうございます。

本日の会議の内容でございますが、特に重要と考えておりますのは、１番の子育て支援における保育のあり方でございます。本年度は、保育士が確保できず、保育園のあり方を検討、見直しをさせていただきました。

来年度以降、このような状況を継続することはできないと考えておりますが、他方で保育士の確保、施設の老朽化、子どもの減少という課題がございます。そのようななかで、今後のあり方について、ご意見を交換できればありがたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

外谷場教育次長

それでは議事に移ります。

要綱上、特に議長の定めはありませんが、慣例により町長の進行でお願いします。

鈴木町長

はじめに（１）子育て支援における保育のあり方について議題といたします。

事務局から説明をお願いします。

椙澤子ども支援係長

【資料により説明】

町長から話があったとおり、今後の運営を考えるうえで、大きく３つの課題がございます。１つ目は園舎の老朽化、２つ目に出生数の減少、３つ目に未満児保育に対する保育士確保です。今後の出生数を考えたなかで、10 年ぐらい前から話題として出てきた問題ですが、令和２年度、４年度に引き続き、緊急を要するという位置づけで、ご説明をさせていただきます。

保育園の概要ですが、平成 24 年度に野尻、富士里保育園の耐震補強工事を行っています。両園舎とも建築から 50 年が経過している状況です。最も新しい古間保育園の園舎でも 30 年が経過しています。これまでに必要な改修は行っておりますが、将来的なことを見据えて、どう対応していくか。改修を続け維持していくべきか。現在の施設は、もともと未満児保育を実施する前提で建てられておりません。現状として、未満児を受け入れるためのスペースに限界があります。新設が望ましいと考えておりますが、６月中旬に開催した子ども子育て審議会において、子ども子育ての事業計画の進捗状況を確認し、保育園の問題にも触れさせていただいた際には、子ども子育て審議会ではなく、別組織を立ち上げるなかで、議論していったほうが良いのではないかという意見をいただきました。

令和５年度の園児数は、４月１日時点で未満児が 45 人、３歳以上児が 89 人、合計 134 人となっています。未満児につきましては、現在で申し上げますと 52 人となっています。保

育士数は、正規職員19人となっておりますが、このうち３人は現在育休となっています。会計年度任用職員につきましては17人で、このうち２人が加配対応となっています。保育士の配置基準は、０歳児は３人に１人、１・２歳児は６人に１人、３歳児は20人に１人、４・５歳児は30人に１人となっています。

保育園の概況ですが、平成15年度で古海保育所が閉所となりましたが、その当時の園児数は237人でした。平成27年度に200人を割り込み、令和５年度は134人ということで、20年で100人ほど減少している状況です。３歳以上児はほぼ100パーセントが入園しています。ニーズの高い未満児ですが、２歳児は80パーセントが入園、１歳児は65.7パーセントが入園している状況です。

他市町村の再編の状況ですが、長野市では、令和４年１月に９保育園が民営化、令和５年４月には４保育園が委託となっています。中野市では、令和４年４月に豊田地区の２園が統合されています。また、令和７年４月開園を目指し、２園について民営化のうえ建て替えを計画しているほか、１園の統廃合を検討しているということです。千曲市では、令和４年４月に２園を統合しています。参考ですが、長野市の保育園数は、公立保育園28、公立幼稚園19、私立幼稚園34、認定こども園20、地域型小規模保育20、認可外45となっています。公立の正規職員は220人、会計年度任用職員が229人となっています。当町は令和５年度、３園でスタートしたわけですが、一時あずかり事業につきましては、職員の体制が整わず、休止させていただいております。ハローワークやホームページで会計年度任用職員の募集をしておりますが、まったく応募がない状況です。長野市の保育園等の数を見ても、町外からくる保育士がいないということを、つくづく感じた次第です。飯綱町は、公立保育園が３園、認定こども園が１園となっており、公立の職員数は正規職員が16人、会計年度任用職員が27人となっています。

資料の説明は以上になります。

鈴木町長

ただいま事務局から説明をいただきました。

当町の保育園では施設の老朽化、出生数の減少が課題となっており、近隣市町村では、統廃合、民営化が行われているということです。民営化の場合、施設整備に補助金が出るということですが、町が施設を改築しようとすると補助制度はなく、町がすべて負担することになります。中野市の場合、新聞報道では、民営化という条件をクリアすることによって、建設費に補助金が活用できるということです。ただし、地域住民の方から様々な意見が出ているようで、住民の皆さんの理解を得るには時間がかかるのでは、と思っております。

また当町の保育園は、施設において未満児用の適切なスペースが確保できていない、もともと受け入れを想定していないということです。子どもたちにしかるべき保育環境を提供することが第一です。

いろいろな機会を通じてご意見を伺い、どういった施設が必要なのか、財政面を含めて検討していかなければなりませんが、あまり時間をかけて結論を先延ばしするということもできないという状況です。10年ほど前に保育園のあり方について、議論があったわけですが、その際は結論として現状維持という方針となっております。

説明を聞いていただいてご意見等ございますでしょうか。

（発言なし。）

鈴木町長
　補足で説明があればお願います。

佐藤教育長
　保育園の問題を考える時に、ひとつはハード面です。特に未満児の受け入れを考えたときに、無理に無理を重ねてここまできたということです。未満児に対するニーズは高まっています。ここにきて少し出生数は増えてきている感じもしますが、しかし、30 人ほどしか生まれない子どもたちを考えた時に、正規職員を採用する根拠、とても難しいところですが、子どもが減っていくなかで、正規職員を採用してよいものか。採用しようとしているのは若い保育士です。新規に採用する人は、約 40 年働くことになりますが、40 年、当町の保育園が現状のまま続くはずはないと思っています。職員の定数管理上は 20 人といっていますが、仮に統合がなされたとすれば、余剰ということも起こりうると考えています。
　ハード面をなんとかしようとすれば、おそらく莫大な財源が必要となってきますが、何か良いアイデアがあればですが、困っているところです。

鈴木町長
　未満児保育のニーズが高まっていることをどう考えたらよいか。０歳児に対しては３人に保育士１人、１・２歳児に対しては６人に１人ということで、保育士を手厚く配置しなくてはいけない。保育士を多く確保しなくてはいけない。子どもの減少をどう考えて配置するか難しい問題です。
　今日は、現状を知っていただくということで、このあと時間があれば、またご意見を伺いたいと思います。
　次の議題に進ませていただきますがよろしいでしょうか。

　　（委員異議なし。）

鈴木町長
　それでは、（２）文化三館等の現状について事務局から説明をお願いします。

渡辺野尻湖ナウマンゾウ博物館係長
【資料により説明】
　令和４年度の有料入館者数は 30,888 人で、目標としていた 30,000 人を達成することができました。「信州割」という旅行支援が 45 万円ほど使われたので、その効果があったこと、善光寺ご開帳、３月の第 23 次発掘調査が５年ぶりに行われたことなどが、入館者数増となった理由と考えております。
　歳入につきましては、物品売払が前年度と比較し、168.7 パーセントとなっており、こちらも信州割が影響していると感じております。
　事業の実施状況ですが、展示活動として春期企画展の開催、第 37 回特別展では「60 周年記念展」を開催、ほか来館者に描いていただいた絵を展示する「絵をかいてみませんか」などを行いました。学習会活動として「野尻湖自然観察会」等７回実施、氷河時代体験ミニ講座として、子どもたちを対象に体験学習を中心とした講座を開催しました。公民館文化展での遺物の展示では、縄文土器の展示を行いました。信濃小中学校との連携では総合学習

支援事業や野尻湖クリーンラリー関連事業を行いました。そのほか、放課後子ども教室への協力、北部高校の地域授業への協力、博物館サークル事業、博物館実習の受け入れ、広報「しなの」への「博物館のページ」毎号掲載、研究報告刊行事業、氷河時代案内人・ジュニア氷河時代案内人の養成・活動の実施、新型コロナウイルス感染症対策として、文化庁の補助金を活用した手指消毒液等の購入、Wi-Fi 増設及びライブ配信等の環境整備、地域おこし協力隊事業、野尻湖周辺活性化事業実行委員会の活動として、文化庁の補助金を活用し、ユニバーサルミュージアム整備事業等「野尻湖周辺を活性化する博物館事業」を実施しました。

現在は、第 38 回特別展「信濃町の縄文時代のはじまり」を実施しています。普段は、なかなか縄文土器を展示できるスペースがないことから、収蔵庫にあるものを展示しております。

鈴木町長

質疑等は説明後一括でお願いいたします。

つづいて一茶記念館について説明をお願いいたします。

海口一茶記念館係長

【資料により説明】

令和４年度は、新型コロナウイルス感染症による流行が８月にピークをむかえ、人の動きが制約されたことにより入館者数が伸び悩んだと考えておりますが、総入館者は 6,976 人で前年度と比較し 145 パーセントとなっております。しかし、10,000 人を超えていた平成 30 年度、令和元年度と比較するとまだ及んでいない状況となっています。今後の入館者数の増に向け、頑張っていかなければと考えております。

歳入につきまして、令和４年度は、4,974,024 円で、前年度比 175.3 パーセントとなっております。歳出は、17,424,969 円で、前年度比 54.9 パーセントとなっております。これは、令和３年度に、新型コロナウイルス感染症対策として、感染拡大防止のための活動支援環境整備事業という国の補助金を活用し、空調設備の工事 14,510,000 円を実施したためでございます。

事業の実施状況ですが、一茶講座開催事業３回、ふるさと講座事業２回、俳句入門教室事業２回開催、一茶記念館企画展示事業ということで企画展を２回開催しております。第 21 回全国小中学生俳句大会は、当日行事は中止したものの、多くの投句をいただきました。小林一茶第 196 回忌全国俳句大会につきましても、感染拡大防止のため、当日の席題投句を中止して実施いたしましたが、県内の全国規模俳句大会と比較しても、大変多くの投句をいただきました。また、町内４保育園年長児を対象とし、一茶俳句かるたで遊ぶ機会をつくりながら、全員に一茶かるたを贈呈いたしました。そのほか、広報「しなの」において「はじめての一茶さん」を毎号掲載し、そのなかで町民の方から応募いただいている俳句を発表しております。

令和４年度におきまして、12 点の寄贈、150 点の寄託をいただきました。また、購入は３件で、小林一茶資料整備基金から 800,000 円を活用させていただきました。

そのほか、学術的問合せ 113 件、画像提供 27 件、新聞掲載が 26 件ございました。

鈴木町長

それでは、黒姫童話館及び童話の森ギャラリーについて説明をお願いいたします。

児玉黒姫童話館係長

【資料により説明】

令和４年度の黒姫童話館の入館者数は 11,007 人、前年度比 106.1 パーセントとなっております。歳入ですが、入館料につきましては 4,752,355 円で、前年度比 108.6 パーセント、喫茶収入につきましては 1,909,702 円で、前年度比 179.9 パーセントとなっております。歳出ですが、童話館においても、令和３年度に空調設備工事 37,050,000 円を行っておりますが、高額だったことから、前年度比較をするために令和３年度の歳出から除いて記載しております。

童話の森ギャラリーの入館者数は 6,976 人で、前年度比 92.3 パーセントとなっております。令和３年度は、Ｃ.Ｗ.ニコルさんの追悼展を開催し来館者数が多かったためと考えております。歳入において、体験料が 91,200 円で 137.7 パーセントとなっております。これはコロナ禍で減少していた、癒やしの森事業の利用が増となったためです。歳入合計は 1,029,365 円となっております。

童話館の特徴として、ミュージアムショップと喫茶のみの利用受入れがあり、ミュージアムショップは受託販売となっております。収入が 2,127,662 円ですが、実際には 10,000,000 円弱の売り上げのなかでの童話館収入となっております。売店の利用者数は 4,374 人で、前年度と比較し 500 人ほど増となっております。喫茶時間どろぼうですが、原価率につきましては、令和２年度から見直しをしてきたなかで、令和４年度も 35.7 パーセントとなっております。収入が令和３年度と比較して大きく伸びている要因として、黒姫童話館活性化事業において、メニュー表の見直しや、メニューの改善を実施した結果だと考えております。

事業の実施状況ですが、黒姫童話館活性化事業において、チラシデザインの見直し、駐車場から童話館までの案内として通路にカメを描く等改善を行っております。また、スタッフミーティングや童話館サポート会員ミーティングを開催し、フォトスポットの作成や朗読教室の開催など事業改善につなげております。企画展はギャラリーで３回開催し、童話館では、山室静氏について関連作家の紹介を合わせて展示を行いました。また、北島新平についてギャラリーでの作品展と合わせた展示を行いました。

催事等では、語り・朗読、劇・ショー、紙芝居・おはなし会、童話館サポート会員の実演などを実施し、講演会・講座では、エンデ講座等を開催しました。ピアノリレーコンサートは、１日のみですが３年ぶりに実施しました。なお、童話の森ホールの利用実績は 1,212 人で、前年度と比較して約３倍となっております。

そのほか、童話の森花の会の協力による花壇整備、保育園・信濃小中学校との連携、黒姫ライジングサンホテルとの連携を行っております。

鈴木町長

ただいま三館から入館者の状況、収支の状況、事業の内容について説明をいただきました。ご質問等ございましたらお願いいたします。

吉川職務代理

コロナの厳しい状況の中で、いろいろ趣向を凝らして集客対策をされており、大変だと思いますが、野尻湖ナウマンゾウ博物館の入館者数、売り上げは、コロナ禍前と比較して90パーセントぐらいまで回復しています。特に物品の売払いについて大きく伸びているが、特に売れている商品があるのでしょうか。

渡辺野尻湖ナウマンゾウ博物館係長

ナウマンゾウの表紙の自由帳など、博物館でしか購入できないようなオリジナルの商品をできるだけ増やしています。また、近藤館長が監修した、マンモスゾウのプラモデルは、1年間で100個ぐらい売れており、売上に貢献していると感じています。

吉川職務代理

今後も伸ばすヒントはそこにあると思いますがいかがですか。

渡辺野尻湖ナウマンゾウ博物館係長

自由帳を小さくしたナウマンゾウのメモ帳を次の夏に販売しようと考えています。少しずつオリジナル商品を増やしていこうと考えています。

吉川職務代理

子どもたちは、博物館でしか購入できないようなオリジナル商品に興味や関心が強いと思うので、開発していって売り上げを伸ばしていただきたいと思います。

もう一つお願いします。

昨年、一茶記念館だよりをダイレクトメールで発送しているということで、内訳をいただきました。800を超える数で、想像していたより多くびっくりしました。これは外部に委託して発送しているのでしょうか。

海口一茶記念館係長

当館で発送しています。できるだけ経費を削減するよう努力しています。

吉川職務代理

内訳を見させていただくと、博物館関係等が多いが、マスコミ関係はなかったですか。

海口一茶記念館係長

マスコミ関係には、取材いただけるような企画展等について、当館から詳しい内容を直接送付しています。

吉川職務代理

どのくらいのマスコミ数になりますか。

海口一茶記念館係長

新聞社を中心に送っています。黒姫童話館でも記事になって反響があったこともあるので、一茶記念館としても情報提供をして、記事にしていただければと考えています。

吉川職務代理

私からの提案ですが、新聞、ラジオ、テレビ、雑誌等から取材を受けていらっしゃると思います。名刺交換などもされていると思いますので、そういったものを活用してＰＲすることも考えてはいかがでしょうか。

何かあったときに、一茶記念館を頼ってもらえるような情報提供をご検討いただきたいと思います。一度結びつけば、ほかのマスコミがそれを見たりするので、うまく活用できれば良いのではないでしょうか。

海口一茶記念館係長

ありがとうございます。

水澤委員

来館者が来られた場合、ノートが置いてあって書き込みできるとか、現地を訪れた方の感想や意見をフィードバックできるような仕組みはありますか。

渡辺野尻湖ナウマンゾウ博物館係長

アンケート等はとってはいません。グーグルには博物館の書き込みがあり、写真等の投稿が結構あります。星の数で評価されていますが、それが載ると博物館にメールが来るようになっています。週に２、３ぐらいです。だいたい星３つから５つぐらいという評価をいただいてます。いい評価をしていただいてるという印象を受けています。

海口一茶記念館係長

一茶記念館は年齢層が高い方が多くお見えになります。ベンチを置いてあるところに、自由に書き込める手帳を置いています。そこには、俳句を書いている方、感想を書き込んでくださる方がいます。書き込みは目を通し、改善の検討資料としています。

児玉黒姫童話館係長

入口でアンケートをとっています。令和４年度は 150 件ぐらいありました。いただいたご意見はスタッフと共有して改善しています。

企画等のご提案も参考にさせていただいております。

水澤委員

ご提案ですが、ご意見等いただいたら、ホームページ等なんらかの形でフィードバックできるような仕組みなどをご検討いただきたいと思います。

三館の歳入歳出を見ると歳出の方が多く、三館の赤字は、ざっと計算すると合計で４、５千万円になるのでしょうか。私が教育委員になった時から課題となっていました。ただ、報告をうかがいますと、熱心に活動されていたり工夫をされていると感じています。文化三館の価値を町内、町外に提供している。言わば信濃町の価値を提供していると考えると、赤字の額は許容範囲ということなのか。地に足のついた活動、来館者の意見を大事にしていただいて、フィードバックしていってほしいと思います。それにあたり赤字の額が許容範囲かどうか、価値を提供するに値する額かどうか、放置しないようにしていただきたいと思います。

鈴木町長

そのとおりだと思っております。検討しなければならない課題だと考えております。今日説明させていただいた活動をどうふくらましていけるのか、収支に良い効果を生めるのか。さらに検討していかなければならないと考えております。ご指摘のとおり、文化的な価値は、必ずしも数値だけで判断すべきものではないと考えております。活動にどのような意義があるのかということは町民の皆さんにお知らせしなければならない、そういう責任はあると思います。そういったなかで、バランスをとりながら検討していきたいと思っております。

大澤委員

文化三館に外国人の来館者は増えていますか。

海口一茶記念館係長

コロナ禍後、多くなってきている印象はあります。英語対応は職員ができる範囲で対応しています。

大澤委員

英語の説明文等はあるのでしょうか。

海口一茶記念館係長

一茶記念館には英語の説明はございません。野尻湖ナウマンゾウ博物館のみです。

渡辺野尻湖ナウマンゾウ博物館係長

当館では目視で簡単にメモしています。昨年 10 月９日から今年２月７日までの間ですが、欧米系 49 人、アジア系 34 人、その他２人、合計 85 人となっています。コロナ禍中は外国人の来館はありませんでしたが、昨年の秋ぐらいから増えてきてると感じています。昨日も２組ほど来館されており、今年の春以降も来ていただいてる印象です。

今年度から、ＱＲコードを読み込むと５ヶ国語の音声ガイドができるシステムを導入していますが、すべての展示にはまだ対応できていません。ただ、外国人の来館者はあまり利用しておらず、日本人の来館者が日本語の音声ガイドを利用している印象です。外国人の来館者にもなるべく利用していただければと思っています。

児玉黒姫童話館係長

童話館も同じく増えてきたという印象はありますが、童話館の場合、屋外で景色をご覧になって過ごされる方も多く、来館につながらないということもございます。

大澤委員

ペットの犬等は入館できますか。

児玉黒姫童話館係長

入館できないので外に繋いでいただいてということになりますが、置いて入ることは飼

い主の皆さんご心配のようで、ほぼ入館されません。

大澤委員

都会に飽きた外国人の方が流れて来ていらっしゃっていると私は勝手に思っておりまして、外国人の方に感想や改善点などを聞いたりできれば、また来ていただけるのではと思いました。

竹島委員

感想ですが、今日は保育園のあり方問題から始まって、文化三館のご説明をうかがって、同じ町でアンバランスだなと思いながらうかがっていました。

水澤委員もおっしゃっていましたが、赤字はよくないと思います。ですが信濃町の文化三館はこれから夏、トップシーズンを迎えると思います。いろいろお話をうかがうといろんな景色が出てきて、と思いながらも保育園のほうに振り返ってしまうと、バランスの悪さをちょっと感じてしまいましたので、今後いろいろ考えなければいけないなと思いました。

鈴木町長

いろいろな課題はありますが、いいところも今日の説明であったかと思います。いいところは伸ばして、課題は見通しをもって、教育委員会の皆さんはもちろんですが、多くの町民の皆さんと情報を共有し、合意形成をきちんとやらなければいけないと思っています。また、いろいろな場面でご協力をお願いしたいと思っております。

竹島委員

文化三館に関してはとてもありがたいと思っています。ただバランス的なことだけ気になったという感じです。

水澤委員

保育園の問題ですが、老朽化の問題、保育士確保の問題、出生数減少の問題など解決しなければならない問題点が複合的に重なり合っており、こうすればいいということは、すぐに解決策が見いだせないと思いました。ただ、そのなかで、未満児保育が増えてきているところで、教育委員会定例会のなかで、来年度以降も同じように受け入れられるかどうかと外谷場次長からお話がありました。課題を短期、長期で分けて考える必要があると思います。直近の課題として未満児保育を受け入れられるのか、とても重要だと思いました。預けられなければ信濃町に住めないという方がいないとも限りません。緊急を要する課題だと思います。

鈴木町長

未満児保育をなんとか受け入れていきたいということで、野尻保育園を休園にしたということです。その結果、全員を受け入れることができました。そうしないと受け入れが難しかったということです。保護者の皆さんにはご迷惑やご心配をおかけしましたが、来年度は意向調査を行い、保育士の配置が可能かシミュレーションしたうえで来年度の内容をお

知らせするというかたちになろうかと思います。

椙澤子ども支援係長

令和６年度に向け、野尻、古海、熊坂などを対象に、野尻保育園に通園を希望されるかどうか、30 世帯ぐらいになりますが、意向確認をさせていただく予定で準備を進めています。結果を 10 月の保育園運営委員会や 11 月の入園説明会において、ある程度方針を示したうえで受け入れをするというかたちにさせていただきたいと考えております。

水澤委員

意向調査の時期が遅れ、保護者の方に迷惑がかからないようにだけお願いしたいと思います。

外谷場教育次長

三歳以上児は受け入れられると考えています。未満児の受け入れが今年度と同様にならないか心配しています。野尻保育園を再開するとなると、保育士の数が心配です。年齢的に、これから出産、子育てが始まる保育士が多くいると思っています。現在育児休業を取得している保育士の復帰が確実か見込めないなかで、野尻保育園を希望される方が少ないのであれば、３園体制のほうが、むしろ未満児を多く受け入れられると認識しています。保育園は１人しか預からなくても、最低保育士を２人配置しなければならないというルールがあります。野尻保育園で目いっぱい預かったとしても、０、１歳児が厳しい。預けることが可能な柏原、古間保育園の保育士の配置を厚くしたほうが、年齢の低い未満児を受け入れられると考えています。野尻保育園は人数が少なくて良いという保護者もいますが、少なくて学校に上がったときに心配という保護者もいたことは事実としてあります。そのへんのバランスをとりながら、もちろん近くのほうがいいということは承知をしていますが、そういった選択のなかで野尻保育園をどうするかということを、一番通わせたいであろう野尻、古海、熊坂地区を中心にアンケート調査したいと考えています。仮に希望者が１、２人であれば、大変申し訳ありませんが、来年度も今年度と同様の体制ということも考えなければならないということです。

また、未満児については、育児休業明けで預けたいというご家庭が増えてきていることも事実ですので、先着順ではなく、ポイント制にして優先順位をつけ、必要度の高い世帯から受け入れる等の仕組みを考えています。長野市の保育園のホームページを見ていただくと、かなり厳しく点数付けしています。育児休業が取得できる公務員などは、点数が低くなります。当町の保育園にも影響があり、町外に居住している保育士は保育園に預けたくても点数が低くなり、預けることができず、復帰してもらえないということも起きています。中小企業まではどうかわかりませんが、育児を支える制度がだいぶ浸透してきており、取得できる状況にあるご家庭があるということも事実です。そういった意味では、今までは受け入れに余裕があり大らかでしたが、厳しい状況になってきているので、特に未満児は厳密にしていきたいと考えています。このことは、今後保護者の皆さんに周知していかなければいけないので、来年度に向けなるべく早い段階でやっていきたいと考えています。本当に困っている方がこぼれ落ちないようにはしていきたいと考えています。

佐藤教育長

決裁に回ってくる申請書を見ていると、母が働いている証明が、自宅でこういう仕事で働いてますという就労証明書があります。今までは良かったですが、これからは、全員を受け入れられないということになれば、チェックをせざるをえなくなるということは、昨年秋の保護者説明会でもお話しています。

竹島委員

私自身、保育園にお願いする時そうでした。民生委員さんが来て。なじみのない話ではないと思います。自分の親たちに聞けば昔はそうだったという時代に育ってきた子どもたちが今の親の世代なので、決して難しい話ではないと思います。家に祖父母がいれば保育園に預けられられないという時代もあったと思います。保護者としても受け入れられないことではないと思うので、このことは早く対処してあげていただければ良いと思います。

鈴木町長

熱心なご討議をいただきありがとうございました。現状は情報共有できたと思いますので、引き続きよろしくお願いいたします。

外谷場次長

これで総合教育会議を閉会といたします。

ありがとうございました。

【午後５時８分　閉会】